

2023年度 建設部会 例会・講演会

2023年6月17日

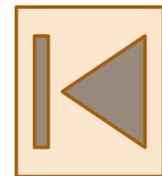
日本技術士会中国本部 建設部会

次第

第1部 建設部会例会（13:00～13:30）

1. 開会挨拶
2. 2022年度 活動報告 
3. 2023年度 活動計画 
4. その他〔技術士CPD活動実績の管理及び活用制度〕 

第2部 講演会（13:40～17:30）



2. 建設部会 2022年度 活動報告

- 2.1 建設部会の活動目的とテーマ 
- 2.2 例会・講演会 (2022. 6. 18) 
- 2.3 第2回講演会 (2022.11.23) 
- 2.4 プチ現場見学会 (2022.11. 1) 
- 2.5 現場見学会 (2022.11.18) 
- 2.6 その他 
 - (1) 統括本部建設部会との意見交換
 - (2) 会員アンケート結果(協力御礼)

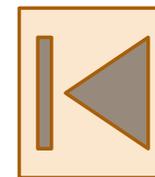
2022年度 建設部会の体制

役 職	氏 名
部 会 長	浅間 康史
副部会長	川端 誠
	楠橋 康広
	溝山 勇
幹 事	25名

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計
会員数	42	44	68	207	54	415
登録者数	179	291	586	1,293	234	2,583
組織率(%)	23	15	12	16	23	16

2.1 建設部会の活動目的とテーマ

*** 建設部会 運営細目より***



【活動目的】

建設部会は、安全で元気な地域づくりと技術士の活躍の場を拡げることがを目的として活動する。

【活動テーマ】

- ① 技術士の地位向上
- ② 土木技術の伝承と教育
- ③ 国土強靱化と防災
- ④ インフラ設備等の品質確保・向上方策
- ⑤ 地域貢献・地域創生

上記の活動目的・活動テーマに沿って、部会内に幹事会（月例開催）を置き、事業計画を立案し、実施しています。

2.2 建設部会例会・講演会

日時 2022年6月18日(土) 13:30～17:00

方法 ハイブリッド方式

【第1部】 例会

【参加者】 例会 : 65名 会場:22名、Web:43名

【概要】 ・2021年度 事業結果(報告)
・2022年度 事業計画(提案)

【第2部】 講演会

【参加者】 講演会: 103名 4会場:35名、Web:68名
(会場:広島・鳥取・島根・山口)

【主旨】 『ビヨンドコロナを見据えた建設系技術士のあり方』

約2年半に及ぶコロナパンデミックの状況下、建設産業は国土強靱化に対する国民ニーズを背景にインフラ保全・整備の社会的要請が高まっている。一方、建設業界では経験豊かな技術者の引退や新規参入者の減少にともない慢性的な技術者不足と働き方改革が喫緊の課題として顕在化してきた。

このような背景のもと、建設系技術士としてどのように活動していくのかについて幅広い分野からご講演をいただいた。

【第2部】 講演会



EMaT
Engineering Mathematics Test
工学系数学統一試験
2021年12月18日(土)
受験料無料
<http://www.aemat.jp/exam/>
申込期間: 10月1日(金) ~ 10月29日(金) 17:00 ※締切厳守



Google: 山本講師

【講演】

演題1 「EMaT(工学系数学統一試験)概要について」「指数関数と逆問題」
講師 広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 池島 優 氏

講演2 「ビヨンドコロナを見据えて—日本社会・人材・働き方の変化について」
講師 グーグル日本法人グランドマーケティング統括部長 山本 裕介 氏

【要旨】

演題1では、EMaT（全国の工学系学部生の数学基礎学力の底上げを目的として実施する試験）の現状および、境界値逆問題の数学的研究について「視点を変えて境界値から内部を推定する指数関数による解析」について講演頂いた。

演題2はコロナパンデミック後の生き方がどう変わるのかグローバルコンテンツであるグーグルの取組み事例について幅広い分野の事例を交えて講演頂いた。

【課題】

幅広い分野の話題提供に好評であった一方、申込・料金徴収方法やWeb中継の品質確保について課題認識した。

2.3 第2回 建設部会講演会(2022.11.23)

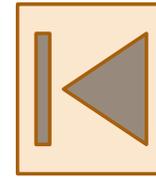
【主旨】

世界的な気候変動対策が求められる中、カーボンニュートラルに向けた動きが国内のあらゆる分野で急速な進展を見せ始め、社会経済構造の大規模な変革が現実的になってきた。

市場規模が将来大きく成長することが予測されるカーボンニュートラル動向を理解し建設分野の技術力貢献の可能性を習得した。

【参加者】 101名（建設部門68名 その他33名）
会場28名（広島15 鳥取4 山口3 島根6）
Web 73名

2.3 第2回 建設部会講演会(2022.11.23)



【講演内容】

講演1「カーボンニュートラル実現の全体像と建設産業への期待」
講師 広島大学 先進理工系科学研究科 教授 市川貴之 氏



市川先生

講演2「CO₂を有効利用する土木材料の開発」
講師 中国電力(株)エネルギー総合研究所土木グループマネージャー
河内友一 氏



河内先生

講演3「CO₂を原料とする微生物発酵プロセス」
講師 広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授 中島田豊 氏



中島田先生

【評価等】

- ・7割を超える方が満足と回答の一方、化学の専門性が高く難しいとの声も有
- ・全国から4割を超える参加者がありWeb講演会の利便性が定着

【課題】

- ・申込・料金徴収方法(パスマーケット)の運用に習熟も、一連の手続きに改善要望あり
- ・音声機器の接続トラブル(ハウリング等)への対処要 等

2.4 プチ現場見学会(2022.11.1)



- ・新型コロナ感染対策(離隔距離確保等)を徹底して開催

【見学先】 広島駅南口広場の再整備事業
(駅前大橋ルートを中心に)

【事業者】 広島市道路交通局都市交通部、
大林組・広電建設・広成建設広電広島駅共同企業体

【参加者】 17名(会員13、会誌購読者1、非会員3)

【概要】

- ・広島市課長から広島駅周辺の事業概要の説明
- ・路面電車到着ホームの設置予定箇所のイメージ説明、
路面電車軌道を支える基礎予定位置
- ・視察スペース(新設)にて、ビデオ等による事業&工事概要
の詳細説明、質疑応答



2.5 現場見学会(2022.11.18)岡山県支部との共催

・新型コロナ感染対策(バス内換気・離隔距離確保等)を徹底

【事業者】 国土交通省 岡山国道事務所

【参加者】 広島・福山発 20名(会員7、協賛2、非会員11)

【見学先及び概要】

① 玉島・笠岡道路西大島トンネル工事 現場

・岡山国道事務所から玉島・笠岡道路、笠岡バイパス事業の概要説明後、西松建設からトンネル工事の説明を受けた。

・トンネル坑内にてコンクリート吹付工事の状況を見学し、詳細説明を受けた。

② 笠岡B.P新神島大橋工事 現場

・三井住友建設から工事概要説明後、橋梁基礎建設現場にてニューマチックケーソン基礎を見学し、詳細説明を受けた。

【所感】

・トンネル工事におけるDX活用の事例紹介や、橋梁工事では事例の少ないニューマチックケーソン基礎施工時の苦労話など、貴重な現場の生の話を聞くことができた。



2.6 その他

(1) 統括本部との意見交換(参加者:浅間部会長)

- ・主催 : 日本技術士会統括本部建設部会(10月28日)
- ・会場 : 奈良春日野国際フォーラム別館(Web配信)
- ・内容 : 建設部会幹事会と各地域本部との
今後の連携等のあり方(意見交換)
 - ・会長挨拶、運営方針、活動報告
 - ・地域本部活動報告及び質疑応答・意見交換
＜北海道、東北、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州＞

(2) 会員アンケート結果(協力御礼)(2022年7月22日発出)

【課題認識】

会員ニーズに沿った事業運営を目指しているが、会員ニーズの把握は講演会等参加者へのアンケート回答に留まっており、広く意見を聞く機会に乏しい状況にあるため、次の2つの項目を主体にご意見を伺った。

- ① 既存事業(講演会、見学会等)に対するニーズの把握
- ② 新規事業(参加型)のニーズの把握

2.6(2) アンケート回答者数

○会員アンケート回答者の状況

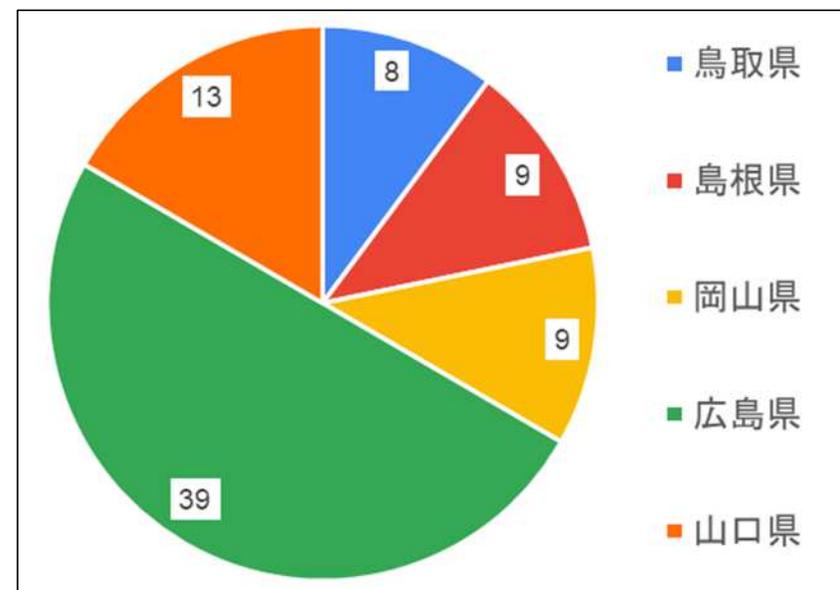
回答者数 78名 ; 回答率 20%〔全393名〕

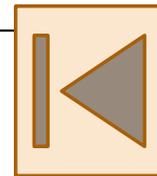
(参考)

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計
会員数	34	43	66	202	48	393
登録者数	164	284	546	1 244	220	2, 458
組織率(%)	21	15	12	16	22	16

○Q1 県別回答者

- ・鳥取県 : 8名
- ・島根県 : 9名
- ・岡山県 : 9名
- ・広島県 : 39名
- ・山口県 : 13名





2.6(2) アンケート結果を踏まえた今後の対応

○講演会

- (テーマ) ・タイムリーな話題、課題など (継続)
- ・異分野も含め幅広い内容
 - ・他の部会との連携技術をテーマとした講演会も視野 (タイムリーなテーマがある場合等)
- (実施方法) ・ハイブリッド方式 (会場 + Web配信) の継続

○見学会

- ・大規模なプロジェクトの見学会 (継続)
- ・プチ見学会 (広島駅前再開) 結果等を踏まえ継続展開を検討

○会員発表講演会

- ・2023年6月講演会にアンケートの発表希望者他に要請講師2名 (@30分)
- ・講演会後のアンケートに毎回講演者募集を行う。
発表希望者が有りの場合は希望者、無しの場合はタイムリーな事例やリタイヤした技術者に要請 など (発表テーマは自由) 。

3. 建設部会 2023年度 活動計画

2023年度 建設部会の体制

役 職	氏 名
部 会 長	浅間 康史
副部会長	溝山 勇
	岩田 直樹
	福光 年宏
幹 事	24名

3.1 2023年度 事業計画



【講演会】

- ・中国本部主催Web講演会の企画・開催(6月、11月目途)
- ・中国地区・全国で活躍する技術者、学識者、経済人、文化人等から近年の社会情勢に関する話題提供を目的に講演会を開催する。

【現地見学会】

- ・10月頃開催を目途に計画中。

3.2 その他の取組み

- 統括本部・地域本部、県支部等との連携
 - ・Webオンライン機能等を活用し連携を図る。
- 幹事の継続的輩出に向け検討をすすめる(2023年度)

以上

4. その他〔技術士CPD活動実績の管理及び活用制度〕

技術士CPD活動実績の管理及び活用制度の概要(2022年4月26日開始)

1. 技術士CPD活動実績簿への記載申請
技術士会CPD登録システム(Pe-CPDシステム)への登録により個々の「技術士CPD活動実績簿」が作成され、過去5年度まで申請可
2. 登録事項変更届書の提出(法的手続き)
「登録事項変更届書」により過去5年度までのCPD活動実績時間が記載可
3. 技術士CPD活動実績名簿の公表(HP掲載)
 - 基準CPD時間達成者 : 20CPD以上
 - 推奨CPD時間達成者 : 50CPD以上
4. 「技術士(CPD認定)」の認定及び公表(HP掲載、名刺等への標記可)
 - 認定条件(2024.3まで):過去2年間の各年50CPD以上
 - 認定条件 : ①合計250CPD ②技術者倫理5CPD
(申請前5年間の実績) ③毎年度20CPD以上
5. 技術士CPD活動実績証明書の発行(申請要)

